

J R C 委員会 活動発表会

日時 令和4年10月14日(金) 13:30~16:00

会場 岩手県立生涯学習推進センター セミナーホール

次 第

- 1 開会のことば
- 2 ちかい
- 3 青少年赤十字の歌
- 4 あいさつ
高文連国際理解専門部 J R C 委員長 一関第二高等学校 校長 石井 美樹子
- 5 来賓祝辞
日本赤十字社岩手県支部事務局長 平野 直 様
- 6 生徒役員会会長あいさつ並びに役員紹介
- 7 講演 (13:40~14:40)
「青少年赤十字の百年 ~これまでとこれからと~」
講師 盛岡市立乙部中学校 校長 石川 健 氏
- 8 活動発表 (14:50~15:50)
- 9 講評
高文連国際理解専門部 J R C 委員長 一関第二高等学校 校長 石井 美樹子
- 10 その他
- 11 閉会のことば

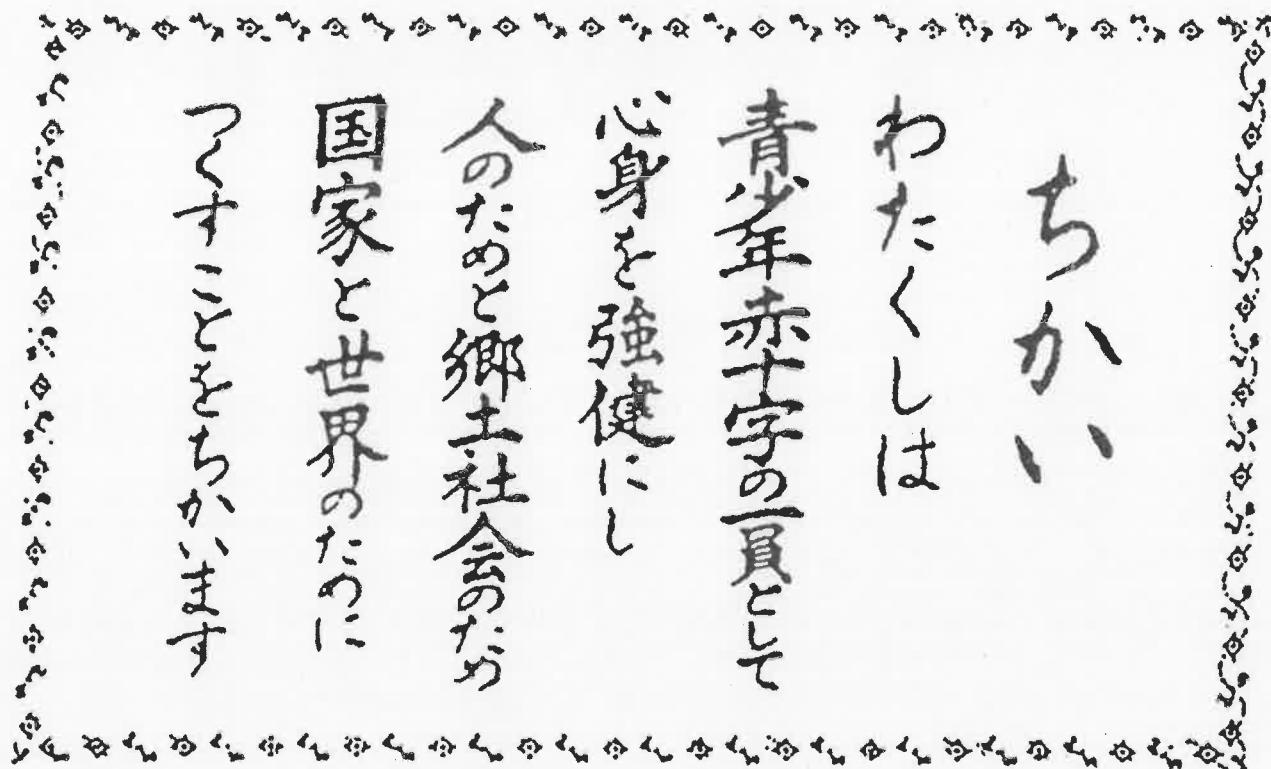
安全に活動発表会を行うために、参加者の皆さんへのお願い

活動発表会では、日本赤十字社の安全指針に基づき、安心、安全に大会に参加していただけるよう、感染症の発生防止のために、十分な感染予防に留意して実施します。また、参加いただいた皆様自身もご留意いただき、安全に大会をすすめられるようご協力をお願いいたします。

【活動発表会における留意事項】

- 大会の前には、健康チェック表による体調のチェックをお願いします。状況によっては、大会にご参加いただけない場合があります。
- 大会前後には、十分な手指消毒（手洗い）を行ってください。
- 大会中はマスクの着用をお願いします。
講師・事務局担当者もマスクを着用して指導を行いますが、ご理解ください。
- 大会中はソーシャルディスタンス（人と人との距離を2メートル程度の間隔をあける）の確保にご協力ください。
- お部屋の窓を開けて、十分な換気を行います。
- 体調が悪いときには、速やかにお申し出ください。状況により、ご帰宅をお願いする場合があります。また、事務局担当者の判断により、大会を中止することがありますので、ご理解ください。
- ご帰宅後、体調の変化が見られた時には、高文連 J R C 委員会事務局へご連絡をお願い致します。
なお、万が一感染が発生した場合に備え、高文連 J R C 委員会事務局に緊急連絡先等の情報を提供いただいていることをご了承ください。

お一人お一人の感染予防が、ご自身と参加していただいた方のいのちと健康を守ります。安全に活動発表会が行えるように、ご協力をお願いいたします。



ちかひ
 わたくしは
 青少年赤十字の員として
 心身を強健にし
 人のためと郷土社会のため
 国家と世界のたのみに
 つとむことをちかひます

青少年赤十字の歌

山田耕祥 作曲
 田中進兵衛 作詞

1. 明けそめる おおぞらに みなぎる ひかり あふれるいのち
 われらわ こうど - われら わ こうど - け
 ん こうのあしなみそろえ すすむの だか がやくみちを
 ひとす じ - に かがや くみち - を -

青少年赤十字の歌

- 一、明けそめる 大空に
 みなぎる光 あふれるいのち
 われら若人 われら若人
 健康の 足並そろえ
 進むのだ かがやく途を
 ひとすじに かがやく途を
- 二、さしのべる手を 組んで
 あわせる力 つらぬくまこと
 われら若人 われら若人
 清純の ちかひにこぞり
 尽すのだ 世界のために
 人のため 世界のために
- 三、海こえて へだてなく
 呼び合う心 ゆき交うこだま
 われら若人 われら若人
 親善の 結びもかたく
 仰ぐのだ 十字の旗を
 ひるがえる 十字の旗を

6 令和4年度JRC委員会生徒役員紹介

	令和4年度生徒役員 (令和4年8月～令和5年7月)
役職	氏 名
会長	富手 結 愛 (盛岡第二2年)
副会長	菊池 優 和 (岩谷堂2年)
	相澤 綾 乃 (一関第二2年)
書記	菊池 舞 音 (岩谷堂2年)
	那須野 杏 実 (一関第二1年)
議長	菅原 智 彩 (一関第二2年)
副議長	高橋 海 咲 (盛岡第二2年)
	高橋 百 恵 (一関第二1年)
報道委員	大久保 永 遠 (盛岡第二1年)
	笠原 愛 莉 (一関第二2年)

7 講演

青少年赤十字の百年 ～これまでとこれからと～

講師 盛岡市立乙部中学校 校長 石川 健 氏

令和4年度 盛岡第二高等学校 JRC 同好会 活動報告

[活動目標] 自分の仕事に責任を持つ

[活動状況] 部員数 20名(1年生10名、2年生10名)

活動日 毎週火曜日(他に必要に応じて適宜)

[活動内容]

月	活 動	活 動 内 容
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップの回収 ・使い捨てコンタクトレンズケースの回収 ・使用済み切手・ハガキの回収 	
5	○「緑の募金」校内募金	・集まった¥4,390 を振込
6	JRC 委員会生徒役員会①参加	
7	JRC 委員会高校生大会参加	
8	二高祭準備・展示	・回収されたキャップがどのように役立っているのか、SDGs との関わりから考察
10	○「マリ共和国助産所建設」街頭募金 JRC 委員会生徒役員会②参加 JRC 委員会活動発表会参加 ○「赤い羽根共同募金」校内・街頭募金	・盛岡市内で実施 ・盛岡市内で実施予定
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・校内備蓄品の整備 ・書き損じハガキの回収 ・各種ボランティア 	・回収箱を設置、全校に呼びかけ

[活動の振り返りと今後の課題]

○今年は昨年できなかった「赤い羽根共同募金」街頭募金に参加します。少しずつ前と同じような活動に近づいているのではないかと思います。

○今後の課題は活動日に全員集まることがほとんどないので、より積極的に活動できるようにしたいと思います

盛岡聴覚支援学校 J R C 活動報告

1. はじめに

今年度の本校の J R C 活動は、中学部と高等部生徒の 32 名で行っています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで継続的に行っていた活動の実施が縮小されたり、中止となってしまうこともあり、改めて「今、自分たちにできること」「今、自分たちに必要なこと」を考え、今年度の活動をスタートさせました。

2. 今年度の活動目標

自分ができる活動に積極的に参加しよう。

3. 主な活動内容

- 5月 J R C 登録式 (中・高等部合同で実施)
- 7月 交流活動 (地域の高齢者施設訪問)
- 9月～12月 交流活動 (不来方高等学校との交流)
- 10月 文化祭 (募金の呼びかけ、J R C 活動の紹介) 予定

4.

7月の奉仕活動では、学校の近くにある高齢者施設「カーサ盛岡南」を訪れ、奉仕活動を行う予定でしたが、雨天のため中止となりました。その活動の代わりとして、施設の利用者の方への寄せ書きを作成しました。高等部本科、専攻科の一人ひとりがメッセージを書いたり、夏を感じさせる物を寄せ書きに描き入れたりしました。そして、生徒の代表が後日施設を訪れ、寄せ書きを贈呈しました。

また、今年度から新しく始まった不来方高校との交流では、手話講習会を一緒に受講しながら交流活動を進めています。今年度の J R C 活動の目標の「自分ができる活動」を考えた時に、近年の新型コロナウイルス感染症の影響で身近の人と疎遠になってしまっている状況が思い浮かびました。改めて、人とのつながりの大切さや必要性を感じ始めていたので、幼稚部からずっと聴覚支援学校に通っている生徒が多い本校の生徒にとって、他の高校生との交流が他者を理解することにつながると考えました。また、最近ではテレビなどでも手話を見る機会も多くなり、自分たちが行動して手話を知ってもらったり、「聴こえない」ことについての理解を深めてもらったりすることで、健聴者のみなさんにも聴覚障がい者について理解を深めてもらえるのではないかと考えました。他の学校の高校生と関わる機会が少ない私たちにとって、交流前は不安や緊張がありましたが、不来方高校の生徒さんが、一生懸命覚えたての手話や指文字を使って話しかけてくれたのが、とても嬉しかったです。この交流は12月まで続く予定ですが、これからも貴重な機会を大切にして活動に取り組みたいと思います。



岩手県立盛岡青松支援学校 高等部 J R C 活動報告

本校の J R C の活動は、生徒会執行部を中心に生徒全員で協力して学校祭での募金活動に取り組んでいます。

今年度は5月に J R C 登録式を行いました。昨年度同様コロナ禍のため、日本赤十字社岩手県支部の方をお招きすることができませんでしたが、青少年赤十字という団体の成り立ちについてメッセージをいただき全校で確認したところです。そして、生徒会長が日本に青少年赤十字が誕生しちょうど100年になる節目の年であることもあり、生徒が一丸となって何か活動に取り組みたいと話しました。最後は1年生3名にバッジを渡し、全員で誓いの唱和を行い、この日気持ちを新たに振り返り、取り組んでいくことを誓いました。

今後の予定は、10月29日に行われる学校祭で、募金の協力をお願いしたいと考えています。学校祭当日は、学校での取り組みの様子を上映し、作品展示や高等部作業製品販売会を行う予定です。今年は3年ぶりに生徒も学校祭に参加します。新型コロナウイルスの感染症対策を徹底したうえで、募金活動をどのように行うか検討しております。

1年生から3年生まで16名と少ない人数ですが、全員で協力して活動します。世界に眼をむけると今日現在も戦禍にある国もあり、多くの被害を受けている方々のために募金活動を行いたいと生徒から意見が出ています。一人一人の生徒が出来ることは小さいかもしれませんが、相手のことを思いやる気持ちを持ち、J R C 活動の推進にこれからもみんなで取り組んでいきたいと思えます。

岩手女子高等学校 JRC部 活動報告

はじめに

私たち岩手女子高校JRC部は、手話の練習やエコキャップ回収を中心として、毎週火曜日に部活動を行っています。

活動内容

●手話歌●



岩手女子高祭での発表の様子です。

●岩手女子高祭での展示、バザー●

8月27日に行われた文化祭では、部活動についてまとめたものなどについて、展示発表しました。また、シュシュ、バスボムなどの小物を製作、販売しました。売上げは日本赤十字社に寄付します。

今後の課題

手話歌については、動きが速くなると全員の動きが揃わなくなったり、手話に集中してしまい、表情が硬くなるのが課題です。練習を一生懸命することで、改善していきたいです。その他の行事に対しても、今まで以上に一人ひとりが積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

花巻南高等学校 JRC部

活動目標 自分にできることを見つけ、積極的に行動する。

活動概要と活動内容 部員数:1年生2名 2年生11名 3年1名 計14名
活動日:週2回 火・木曜日

今年度は、新入生が2名入部しました。

ウクライナ支援のための募金活動で22,583円集まりました。日本赤十字社を通してウクライナ人道危機募金に振り込みました。

また、絵本を送る運動を行いました。今年はミャンマーの子供たちに向けてビルマ語のシールを貼りました。多くの子供たちに読んでほしいです。

コロナ禍の影響はボランティアだけでなく、ペットボトルキャップ回収にもありました。感染防止のため、ペットボトルは家に持ち帰ることになったため、今年度は新たに回収することがありませんでした。これまでの分を丁寧に作業して送ります。

後期は花南祭で行う1円玉募金のお礼としての小物作りと、書き損じはがきや使用済み切手の回収等の活動で行いたいと思っています。今年度の花南祭も規模縮小となりました。来年度の花南祭へ向けて引き続き活動をして、来年度の花南祭ではたくさんの方々に募金をしていただきたいと思います。

月	JRC部	JRC委員会
4月	小物作り	
5月	ウクライナ支援募金活動	
6月	入会式、絵本を送る運動	
7月	ペットボトルキャップ洗い	
8月	↓	
9月		
10月	小物作り 赤い羽根共同募金街頭	赤い羽根共同募金校内募金
11月	↓	
12月		NHK歳末たすけあい募金活動
1月	書き損じはがき回収運動	書き損じはがき回収運動
2月	↓	
通年	ペットボトルキャップ回収、小物作り	災害義援金募金活動(発生時)

今後の活動

状況がよくなれば、ぜひ地域のボランティア活動に参加したいです。それまでは今できることを、一つ一つ丁寧に行っていきます。

大迫高等学校 J R C 部ベンチプロジェクト活動報告

大迫町を賑やかに！そして鮮やかに

2年 藤原 愛 藤原 姫香

活動目標 大迫町の、誰も座らなくなったベンチを私たち高校生のアイデアで甦らせる！

現状課題 汚れが目立ち活用されていない

仮 説 ベンチを可愛くデザインして町内のいろんな場所に置くことで観光できた方に大迫の伝統行事や伝統芸能を知ってもらえる事ができ、そこから町外へと広める事ができる。

解決方法 腰をかけたくなる、楽しくなる、ベンチと写真を撮りたくなるようにリニューアル
掛け以外の機能を持たせる QRコード活用、イベント等活用（スタンプラリー）
特産、文化芸能等のPR(看板)の意味合いをもたせる

活動内容

(1) ワークショップ

一人が「どんなベンチに座りたいと思うか」などを考えて紙に書いてグループ内で発表し合いました。



(2) 作業内容

- ① ベンチの洗浄・・・たわしを使ってゴシゴシと洗っていきます
- ② ヤスリがけ・・・ベンチの表面の凸凹を平らにしていきます
- ③ 下地塗り・・・白ペンキで下地を塗ります
- ④ 下書き・・・鉛筆で下書きを書いていきます
- ⑤ 彩色・・・ペンキを混ぜ合わせて目標の色を作り、ベンチへ彩色
- ⑥ 仕上げ・・・保護スプレーをかけてベンチが完成

【活動の様子】



(3) デザイン募集

この活動で、私たち大迫高校生以外にも町内の小学校や中学校の生徒からもデザインを募集しました。「子どものチカラで大迫を華やかにしよう！」を合い言葉に、大迫中学校・大迫小学校にも募集。大迫中学生・大迫小学生が夏休みにデザインを考えてくれました。選考会を開催し、次のデザイン案を決定し、ベンチを完成させていきます。

(4) おわりに

現在5基のベンチが完成し、町に設置されています。地域の方から、ベンチが明るくなってうれしいとの声を頂いています。これからも町の活性化と美化に力を入れていきたいです。

令和4年度 花巻東高等学校 JRC部活動報告

1 今年度の活動目標

赤十字の基本理念を理解し、健康・安全、奉仕、国際理解・親善に関する活動を計画・実行する。

JRC活動の意義を理解し、人道精神や感染症対策についてなどを校内に広める。

2 活動状況

部員数 1年生3名・2年生1名・3年生0名

活動日 週1、2回程度 おもに水曜日（放課後）

その他、募金活動のボランティアなどに参加

3 活動内容

- ・校内ボランティア（清掃や補修など校舎内の美化・整備を自分たちの力でチャレンジする）
- ・JRC精神を学び、校内に広げる活動の工夫
⇒献血車が本校に来るのに合わせて、呼びかけを行った。
- ・赤い羽根共同募金やNHK 海外たすけあい募金の活動予定
- ・通年で、使用済み切手の回収、1円玉募金、エコキャップ運動など、その他、広報活動

4 課題

部員数が少なく、活動意欲もあまり高くない人が多く、なかなか活動を軌道に乗せることができなかった。校内にはボランティア活動に興味のある人はいるが、部活動などの練習があり、継続的に一緒に活動に参加してもらうことは難しい。

今後も協力してもらえそうな人に声をかけながら、他の生徒にもJRC活動について知ってもらい、一緒に活動に参加してくれる人を増やしていきたい。

献血にチャレンジしたが、条件を満たせず、断念した。次回までに健康な体作りをし、リベンジしたい。献血できる健康な体であることが大切であると改めて感じた。

令和4年度 北上翔南高等学校 JRC 部

1 部員数

1年生→0人 2年生→5人 3年生→3人（引退）

2 今年度の活動目標

人の役に立てるような活動を続けながら、楽しく活動しよう

3 活動内容

4月	紙テープかご製作 ペットボトルキャップ回収 外水道流し清掃 校地内・運動公園ゴミ拾い清掃
5月	
6月	ウクライナ募金（インターアクト委員会と共同参加）
7月	高校生大会参加 感謝状贈呈式出席 校内清掃活動
8月	
9月	文化祭準備
10月	文化祭 赤い羽根共同募金活動（街頭） JRC委員会活動発表会 トレーニングセンター参加 手話の学習
11月	赤い羽根共同募金活動（校内・予定） 校外清掃（ゴミ拾い）
12月	1円募金 クリスマス献血ボランティア（予定）
1月	
2月	

*年間を通じての活動・・・ペットボトルキャップ回収、かご製

4 今後の活動・課題

- ・校外活動では引き続き募金活動やクリスマス献血に協力していきたい。
- ・校内活動ではペットボトルキャップの回収、手芸作品の製作、校内清掃などを継続していきたい。
- ・これまでの活動に加え、自分たちに何ができるかを話し合い、新しいことに取り組みたい。

専修大学北上高等学校 国際理解委員会

2022年11月14日

委員構成

	1年生	2年生	3年生	合計
男子	5	12	10	27
女子	10	4	6	20
合計	15	16	16	47

令和4年度活動目標

「できることから
コツコツと」

活動予定

- ・5月 北上西ロータリークラブ新入生例会参加（希望者）
- ・7月 使用済み切手回収（状況を見て何度か行う）（全クラス）
- ・8月 ロータリークラブ年次大会（希望者）
- ・8月・9月 1円玉募金活動（全クラス）
- ・10月・11月 赤い羽根募金活動（希望者）
- ・12月 あしなが学生募金活動（希望者）
- ・12月・1月 一人暮らし家庭での雪かき（スノーバスターズ）（希望者）
- ・3月 北上西ロータリークラブ卒業例会参加（希望者）

1円玉募金活動について

現金を持たない時代になったとは言え、募金のために小銭をためている人がいた→銀行では手数料がかかるので助かると言われた

使用済み切手回収について

切手のついた封書を受け取っている一般家庭が少ないと感じた。→学校の事務室や先生たちに協力してもらった

委員会としての問題点

立候補して委員になっているわけではないので、ボランティア意識が乏しい人が多い
 クラスごとの活動はやってくれる

前沢高校JRC部

I 部について

今年度の部員数は3年生4名、1年生1名である。

現在、3年生が引退したため、1年生1名の活動となっている。

II 活動内容

① 通年活動

- | | |
|--------------------|---------------|
| (1) たばしね学園おもちゃ図書館 | → 人数の関係で実施できず |
| (2) 介護施設・ペルシモンまえさわ | → 今年度の活動はなし |
| (3) エコキャップ運動（校内） | → 継続して実施 |
| (4) 1円玉募金（校内） | → 継続して実施 |

② 今年度活動内容（自主企画、参加企画含む）

ボランティア活動は、全校に呼びかけをして参加している。

植樹祭ボランティア

ツリークライミングボランティア

赤い羽根共同募金ボランティア

にこにこ図書館読み聞かせボランティア（冬の活動に参加予定）

以前まで行っていたボランティア活動は、コロナの影響もあり、ほとんどが実施できていない。

III 昨年度から継続して取り組んでいること。

- ①校内の清掃活動。校舎前の坂（青春坂）のゴミ拾い清掃
- ②SDGsの学習会・・・顧問の指導のもと、部員でSDGsについて学習した。
- ③前高祭（文化祭）では、「震災におけるハザードマップの掲示や、避難物資についての提示等」を行う予定。

～ 今後に向けて ～

思うように活動できない中、できることを行っている。活動できるようになった際、すぐに行動できるように世界的なボランティアの活動について知るなど情報を取り入れるようにしている。地域ボランティアにも力を入れ、企業やボランティア団体との交流など活動の幅を広げたいが、なかなか思うように行動できていない。学校にボランティア募集のチラシも来ているが、コロナの影響で思うように参加できていない。このような中で、こういった活動をしていくべきなのかを考えていきたい。

また、全校へボランティア活動の大切さを伝えるために、ポスター掲示や呼びかけ等を行いながら実施できることを考えていきたい。

令和4年度 岩谷堂高校 JRC部 活動報告

- ・3年生4名が引退し、2年生8名で活動しているが、熱心に活動しているのは5名
- ・活動日 週3回（火・木・金）
- ・活動目標 『一人一人が部活動を真剣に行い、ボランティア活動で地域に貢献する』

<活動内容>

* ペットボトルキャップの回収と洗浄（通年）

- ・校内のペットボトルキャップを回収、洗浄
- ・三者面談期間に各家庭からも回収
- ・「世界の子どもにワクチンを日本委員会」連携業者へ回収したキャップを寄付 昨年度 約60kg回収

* 使用済み切手の収集（通年）

- ・事務室の協力

* 1円玉募金

- ・三者面談中 7/4（月）～7（木）に取り組んだ。

* 老人ホーム花壇整備ボランティア

- ・7/12（火）特別養護老人ホーム聖愛園へ花苗寄贈

* 岩高祭 10/21（金）22（土）

- ・活動内容の紹介
- ・赤十字募金（ウクライナ支援）

* 啓蒙活動・募金活動

- ・一日人権擁護委員 6/1（水）赤い羽根共同募金 10/10（月）への取り組み

* 校内・校地内清掃・校地内雪かき

- ・定期的に校舎周辺のゴミ拾いと、校内清掃を実施
- ・冬季には雪かきも行う

<今後に向けて>

2年生部員8名だが、熱心に活動する部員が固定化しているので、活動を活発化して行きたい。来年度はより多くの部員が入部してくれるよう、部活動の紹介を継続して行いたい。



キャップ洗浄作業



聖愛園へ花苗寄贈



校舎周辺のゴミ拾い

一関第二高等学校 JRC 部 活動報告

① 活動状況

部員数	1年生12名・2年生9名・3年生6名 計27名
活動日	水（放課後 1時間 程度） 土・日（ボランティアの依頼があった場合） 依頼されたボランティア 5件（新型コロナウイルスの影響で延期・中止）

② 活動内容

	活 動	内 容
通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内の消毒 ・使用済み切手回収 ・使い捨てコンタクトレンズケースの回収 	
4 月	・やまのめ桜まつりボランティア	スタッフとして手伝い
5 月	・JRC登録式	講師の先生をお招きし、校内で研修を実施「青少年赤十字について」
6 月	・ウクライナ人道危機救援募金	PTA 役員と合同で実施 (募金額 27,680 円)
	・一関署・一関駅に花のプランターをお届けするボランティアのための準備（花植・花摘み）	農場で専門の先生から指導を受けながら活動
7 月	・高校生大会 参加	
	・一関署・一関駅に花のプランター贈呈式	一関署・一関駅前に花のプランターをお届けするボランティア
	・高校生保育ボランティア体験	延期
9 月	・一関国際ハーフマラソン大会ボランティア	スタッフとして手伝い (受付、給水所、ドリンクサービス 等)
10月	第1ブロック高等学校青少年赤十字交流会	1名参加
	・花泉マラソン大会	スタッフとして手伝い
	・活動発表会 参加	
	・いちのせき産業まつり商工祭	スタッフとして手伝い
	・リーダーシップ・トレーニング・センター	4名参加 予定
今後の予定		
11月	校外清掃	未定
	赤い羽根共同募金	未定
12月	IBC ラブチャリティ・ミュージック ボランティア	未定

③ 課題

◇昨年にくらべボランティア要請は増加し、活動の幅も広がっているが、自分たちに何ができるのかを考え、自主的に行動する意識を持つことが必要である。

④ 活動の様子



プランターの準備（花植）



プランターの準備（花摘み）



一ノ関駅プランター設置



一関警察署プランター設置



ウクライナ人道危機救援募金



一関国際ハーフマラソン大会ボランティア

令和4年度高田高校 JRC 同好会活動報告

【活動状況】

部員数 1年生0名 2年生 2名 3年生 5名
活動日 毎週木曜日

【活動報告】

<通年>

○ペットボトルキャップ回収

回収箱 各教室や自動販売機の隣に設置したキャップ回収箱から回収
作業内容 ペットボトルキャップの回収・洗浄・個数の確認
目的 株式会社ミチノクの方に連絡して取りに来てもらい、世界中の子どもたちへのワクチン提供に協力する。



○校内花壇整備

作業内容 プランターへの花苗植え及び管理
目的 敷地内の環境美化に努める。



○古封筒作成

<臨時>

○暑中見舞いカード作成、お届け

作成期間 6月～7月 通常活動日
お届け先 特別養護老人ホーム 高寿園
目的 地元の老人ホーム「高寿園」の皆様に 暑中見舞いカードを配付し、交流を図る。



○文化祭展示

日時 9月30日(月)～10月1日(土)
会場 本校舎内
内容 献血パネル展示及び JRC 活動報告展示
目的 自分たちの活動を生徒、保護者等に知っていただく。

- 今後の予定 クリスマスカードの作成・配付(12月)
書き損じ葉書回収(1月～3月)

令和4年度岩手県立大船渡高等学校 JRC 同好会活動報告

本校のJRC同好会は、青少年赤十字の実践目標「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」の3つを実現するために、様々な活動を行ってきました。定例活動として、「書き損じはがき」と「使用済み切手」の回収を行い、「岩手県社会福祉協議会岩手車いすフレンズ」に送っています。また、一円玉募金活動も行っています。さらに多くの人に協力してもらうためには、積極的に呼びかけるなどの工夫が必要だと考えています。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、校外活動が制限された令和2年度から3年度は、主に校内で「災害時高齢者支援講習会の振り返り」「防災学習」「新型コロナウイルス感染症3つの顔についての校内ワークショップ」などの活動を行いました。「災害時高齢者支援講習会の振り返り」では、以前、日本赤十字社から講師をお招きし、学んだことを本校の生徒に伝えるために講習会を行いました。ホットタオルや毛布を使ったガウン、風呂敷を使ったリュックの作り方を伝え、参加者に災害時の高齢者との向き合い方について学んでもらいました。「防災学習」では、日本赤十字社秋田県支部の動画を視聴し、防災グッズの備えや災害が起こった際の行動について話し合い、考えを深めました。「新型コロナウイルス感染症3つの顔についての校内ワークショップ」では日本赤十字社によって作成された教材を使用し、校内の生徒に新型コロナウイルス感染症を身近なこととして考えてもらいました。また、3月に開催された日本赤十字社埼玉県支部による勉強会「ウクライナ人道危機と赤十字の活動を知ろう」にはJRC同好会会員以外の生徒も積極的に参加しました。

令和4年度は、特に「国際理解」の活動を積極的に行いたいと考え、活動しています。毎週月曜日には英語で身近なことやALTの出身国カナダについて質問をしながら、世界について学んでいます。この活動で、カナダと日本の学校生活には多くの違いがあることがわかりました。

また、校内で行われたアフリカのアンゴラの生徒たちとの英語の交流会にJRC同好会のメンバー5名全員が参加しました。アンゴラの生徒たちが積極的に英語で日本の生徒に質問している姿を見て、私たちも、さらに積極的に話す必要があると感じました。

さらに、10月2日(日)に行われた「青少年赤十字創設100周年記念「令和4年度国際交流事業」」に3名が参加しました。テーマは「気候変動～未来と世界をまもる行動をもとに～」で、気候変動の対策において重要なことは、「適用と緩和、つまり自然災害との上手な共存の仕方と気候変動の原因となる行動を減らすこと」だと分かりました。また、今回の交流は全て英語で行われましたが、各国の代表者や他県の高校生たちが英語で意見を述べる姿を見て、私たちもさらに英語力を高め、自分の意見に自信を持って表現することが大切だと気が付きました。

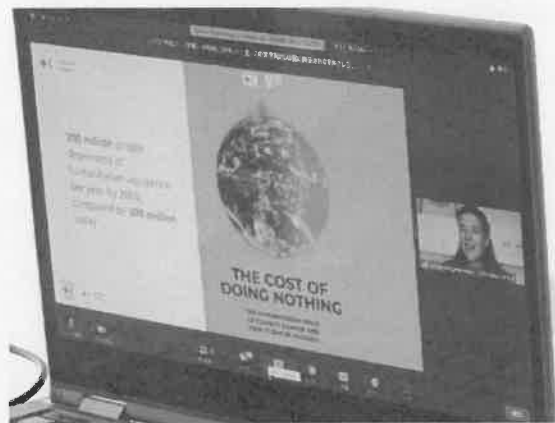
10月1日(土)～10月2日(日)の2日間、福島県郡山市で開催された「青少年赤十字創設100周年事業「令和4年度第1ブロック支部高等学校赤十字交流会」」に1名が参加しました。この交流会に参加し、「何事もまずは知り、それから伝える」ことが大切だと学び、日々のJRCの活動で意識して行動していこうと思いました。

10月29日(土)には、4名が日本赤十字社岩手県支部主催の「リーダーシップ・トレーニング・センター」に参加し、リーダーシップについて学ぶ予定です。

JRCの活動を通して、私たちは、世界を知り、「国際理解と親善」の精神を学び、地域で活動することにより、世界へ貢献したいと思います。

青少年赤十字創設100周年記念

令和4年度国際交流事業（10月2日（日））より



令和4年度 釜石商工高等学校 JRC 委員会 活動報告

1. 委員数

	1年	2年	3年	計
男子	4	4	4	12
女子	2	2	2	11
計	6	6	6	18

2. 活動目標

積極的にボランティア活動に参加する。

3. 活動内容

4月	委員会集会
5月	釜石駅前花植プロジェクト
6月	
7月	レオクラブ入会
8月	
9月	委員会集会
10月	赤い羽根共同募金
11月	福祉まつりボランティア
12月	クリスマス献血
1月	1円玉募金活動
2月	卒業レオを送る会
3月	

〈活動の様子〉



4. 今後の活動・課題

今年度はひとり一つ以上のボランティア活動参加を目標に活動してきました。新型コロナウイルスの影響で活動し難いときもありましたが、昨年度よりも多くのボランティア活動に参加することができました。また、ボランティア委員以外にも活動を呼びかけたところ、参加してくれる生徒がおり、よりよい活動にすることができたと思います。

今後の課題は、新型コロナウイルスの影響でどこまで活動範囲を広くしていくかだと思います。感染症対策を徹底し、生徒が安心して参加・活動できるように計画を立てていきたいと思っています。

10 その他

(1) 切手類の収集について

JRC委員会では、各校で収集した切手類を事務局でまとめて送付します。各校で収集した切手類を事務局までお送りください。

<収集している切手類>

- ① 書き損じはがき・未使用はがき
- ② 未使用切手
- ③ 使用済み切手（切手の5ミリ外を切ってください）

<送付先>

生徒役員会で話し合い、決定します。

(2) 一円玉募金について

日本赤十字社の取り組みである『一円玉募金』をとおして発展途上国の学習支援を継続していきましょう。

一円玉募金専用口座が開設されました。専用振込依頼書を使用することで、各校で振込手数料を負担せずに募金を振り込むことが出来ます。日本赤十字社岩手県支部からの指示に従い各校で直接送金してください。